

平成28年9月1日

二島中学校だより

No.7

北九州市立二島中学校
校長 森 隆

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。いよいよ2学期が始まりました。生徒たちは、夏休み中に大きな事件・事故もなく、元気に登校してきてくれました。明日は課題テストがありますので、昨日までの休み気分を一新して、頑張らしましょう。夏休みに努力した学習の成果を発揮して、良い成績が取れることを期待しています。

中体連夏季大会、水泳新人大会、大健闘！！

7月16日～8月25日にかけて、中体連夏季大会・新人大会と合唱コンクールが開催されました。結果をお知らせします。

全国第3位に輝いた女子バスケットボール部の皆さん、本当におめでとうございます。全国大会では、どの学校も大変な努力をして勝ち上がってきており、必死にゲームをします。どの試合も接戦で、ミスの許されないゲームなので、会場全体が緊迫感のある雰囲気です。その中で、二島中女子バスケット部は、素晴らしいプレーで全国3位を勝ち取りました。毎朝体育館でシュートの練習、放課後の集中した練習、土日祭日には練習会や練習試合、大変な努力をしてきました。そして、本校バスケット部は日頃の学校生活でも常に全力を尽くす生徒ばかりで、学級のリーダーとなって級友をプラスの方向に導いてくれる人がたくさんいます。毎日の挨拶・清掃活動もきちんとできる生徒で、全国3位にふさわしい部員です。そして特に素晴らしいのは、チームワークでした。ベンチに入れなかった1・2年生の心のこもった絶大なる応援、黙々とスコアをつけ、チームを陰で支え勝利に貢献してきた竹村さんの姿にも感動しました。

【8/24 女子バスケット部、決勝トーナメント準々決勝の東京成徳中学校との試合】



全国大会二日目、試合中のタイムアウト。山崎先生の指示を真剣に聞き入る選手たち。バックに吊るされているのは、二島中の応援旗。結果は、71対38の完勝で、すごい集中力を発揮し、全員のプレーが輝きを放っていました。

女子バスケット部だけでなく、他の部活動も精一杯もてる力を発揮して頑張りました。努力の成果を是非2学期からの学校生活に活かして欲しいと思います。

【7/25 女子バレー部、市内大会予選リーグ 八幡西区の浅川中学校との試合】



セッターの三浦さんがライトアタッカーの道脇さんにバックスしている様子。

試合は、惜しくも敗れましたが、必死にプレーする二島中バレー部の姿は輝いていました。

【8/2 剣道部、県大会個人戦 1 回戦の試合】



主将宮本君が個人延長戦の末、1 本を取られ惜敗。見事な戦いぶりでした。

団体戦では、市内大会 4 位で県大会予選リーグ惜敗でしたが、県大会という舞台で真剣に戦った経験は、今後の人生に必ずプラスになるものと信じています。

女子バスケットボール	市内大会 優勝 九州大会 優勝	県大会 準優勝 全国大会 第三位
女子バレー	市内大会 予選リーグ惜敗	
男子剣道	市内大会団体 ベスト 4	県大会 予選リーグ敗退 個人 宮本克英：市内大会第 3 位、県大会 1 回戦惜敗
女子剣道	市内大会団体 ベスト 8 個人 中橋瑞希、矢野保乃花：市内大会 1 回戦惜敗	
陸上	個人 加藤雄大：県大会 100m 走 決勝進出 〈11" 80〉 個人 玉木莉子：県大会 100m 走 予選敗退 〈13" 68〉	
合唱	JCA 九州合唱コンクール県大会 金賞【九州大会出場】 NHK 全国学校音楽コンクール県大会 銀賞	
水泳	夏季大会	個人 女子 400m メドレーリレー 《大庭,伊藤,柴田,時川》 市内大会第 3 位 〈6' 12" 86〉 県大会予選敗退 〈6' 11" 93〉 個人 女子 400m リレー 《大庭、小池、柴田、時川》 市内大会第 3 位 〈5' 29" 17〉 県大会予選敗退 〈5 ' 26" 38〉

水 泳	新人大会	団体	市内大会女子総合 3 位
		個人	女子 400m メドレーリレー 《柴田,岡部,時川,小池》 市内大会第 3 位 〈6' 22" 11〉 県大会出場
			女子 400m フリーリレー 《小池,木本,柴田,時川》 市内大会第 3 位 〈5' 44" 37〉 県大会出場
		個人	男子 400m フリーリレー 《佐藤,伊藤,三嶋,松本》 市内大会第 4 位 〈5' 00" 35〉 県大会出場

本校合唱部は、JCA 九州合唱コンクール県大会で、見事金賞を勝ち取りましたので、来たる 9 月 10 日（土）に九州大会に出場します。合唱部も女子バスケット部に勝るとも劣らない素晴らしい生徒達です。是非金賞、そして全国大会の切符が取れるよう頑張ってきてください。心から応援させていただきます。

また、水泳部は上記の通り、新人市内大会で女子 3 位、男子 4 位という成績を収めましたので、9 月 3 日（土）に行われる県大会に出場します。男子は 400m フリーリレーで 4 年ぶりの県大会出場です。スイミングクラブの選手が多く出場する中、県大会出場を勝ち取りました。特に今年度は、男女ともに本校での泳ぎ込みの量が多く、大変な努力の成果が出ました。

本校女子生徒 2 名が、おばあちゃんを助ける

8 月 12 日に男性の方から学校へお礼の電話がありました。「昨日、二島中の女子生徒 2 名が私の母（87 歳の母）を助けてくれました。認知症が入ってきているようで、自宅の住所も電話番号も分からなくなって、うろうろしているところを、二島中の女生徒 2 名と一緒に自宅を探してくださいました。1 時間程探してくださいましたが分からないので、パトカーを呼んでくれて無事自宅に帰宅できました。本当に助かりました。その二人の名前もわかりませんので、お礼の言いようありませんが、素晴らしい生徒さんでしたので、校長先生に報告させていただきます。」という内容のお話でした。

私は、お礼の電話をくださった男性の方に「この 2 人の女子生徒たちの行動は本当に嬉しいですね。是非学校通信に載せさせていただきます。そのことで、2 人の女生徒には謝意が伝わると思います。そのわざわざご連絡いただきありがとうございます。」と伝えました。

本当に心温まるお話でした。私たちはこの二人の女子生徒のように、困っている人がいたら、自然に手を差し伸べられる素晴らしい人でありたいと思います。

ワンポイントコーナー テーマ：「先を見通して、今を生きる」

今年の夏休み、テレビ・新聞・ネット等の報道で盛り上がったものは、リオのオリンピックでしょう。多くの人が、この熱い戦いに興奮し、メダルを取った後の喜びや悔しさの涙に感動させられました。水泳選手のメダルラッシュ。体操日本男子団体金、男子卓球団体銀。女子卓球団体銅。バドミントン、テニス、柔道、レスリング、シンクロ、その他数々の日本選手の活躍に感動しました。もちろんウサインボルト選手の3連覇やブラジルサッカー優勝など外国人選手の活躍にも感動をもらいました。

この感動は、どこにあるのか？どうしても私は、選手たちの今回のオリンピックにかけた4年間の努力、そして今までの人生の全てをかけて、頑張ってきた思いを考えると、目頭が熱くなります。我々日本人は日本選手の試合の大変な緊張感の中で一所懸命にプレーする選手をみて応援し、結果に一喜一憂しますが、この結果は、4年間、そしてそれ以上に時間をかけ、命がけで努力を積み重ねてきた成果でもあります。当然、世界で戦うアスリートですから、怪我があります。その怪我を乗り越え、メダルを勝ち得た選手がほとんどです。我々には想像を絶するくらいの苦勞と努力です。先を見通してこの試合の数十秒、数分間の為に、頑張ってきたものです。

前述したように、本校の女子バスケット部は、全国大会優勝を目指して3年間命がけで努力を積み重ね全国3位という成績を収めました。本校の合唱部も3年間かけて様々な困難を乗り越え、県大会金賞、九州大会出場と言う素晴らしい成績を収めました。他の部活動の選手たちも本気で取り組み、様々な成績を収めました。オリンピックのレベルとは違いますが、本気で取り組む姿勢は共通するものがあります。だから、応援する保護者も先生も感動させられるのです。オリンピック選手の秘めたる能力は、我々とは全く異次元のものです。しかし、本気で頑張る心は同じなのです。オリンピック選手のように命がけで取り組みましょう。勝ち負けに関係なく、命がけで、本気に取り組むことで、自分自身に必ず大きな感動が湧き上がり、自分の大きな成長につながります。

3年生は、5か月後には私立高等学校の受験があります。これを乗り越えることで大きく成長できるのです。

日本の多くのオリンピック選手がメダルを獲得した最後のインタビューで語っていました。「もう4年後の東京オリンピックへの戦いが始まっています。」

我々も今から半年後、1年後、2年後の自分の見通して命がけで頑張りましょう。

部活動に！ 勉強・試験に！ 高校受験に！